

2022-2023年度 びわこ部 第3回役員評議会 <議事録>

日時: 2023年2月18日(土) 14:00~16:15

場所: 彦根勤労福祉会館 3F 会議室

出席者: 評議会の議決権者

部長: 林宏一、直前部長: 安田博彦、次期部長: 渡壁十郎
(クラブ会長)近江八幡クラブ: 藪秀実、彦根クラブ: 五味由紀子
彦根シャトークラブ: 金澤芳夫、長浜クラブ: 松岡義隆
滋賀蒲生野クラブ: 岡村遍導、高島クラブ: 牧賢範

(役員)書記: 宮本年博、会計: 外海清圭

Yサ・ユース主査: 富田宗宣(欠)、地域奉仕・環境事業主査: 田中浩文

EMC主査: 松本太一(欠)、交流主査: 東康彦

(常任委員長) 200推進T: 井之上温代、ワイズ起こし: 松岡義隆

HP情報: 安田博彦

担当主事: 久保田展史総主事(滋賀YMCA)

全体進行: 宮本書記

次第: 1. 開会点鐘 びわこ部部長 林宏一

2. ワイズソング 静聴

3. 部長挨拶 林 宏一

4. 直前部長挨拶 安田博彦

5. 次期部長挨拶 渡壁十郎

6. 出席者確認 宮本書記

役員会成立の確認【部則: 第3章第7条(評議会)、第8条(役員会)】

7. 議案・協議案

【議案審議】

議長選出 慣例により林部長が議長に選任された。

【第1号議案】

議長: 林部長

提案者: 宮本書記

議案・協議案名

2022-2023年度 びわこ部第2回役員評議会議事録承認の件

議案・協議案内容

2022年11月19日(土)に開催された 第2回役員評議会議事録の承認を願います。

《審議結果》 全員一致にて承認

この後、風の谷キャンプ場の運営をはじめ滋賀YMCAとの協働に関し、びわこ部執行部と滋賀YMCAトップによる話し合い(12月21日)について報告した。

滋賀YMCAとの今後の協働にかかる話し合いについて

日時: 2022年12月21日(水) 15時~16時40分 場所: 滋賀YMCA会館 会議室

滋賀YMCA出席者: 久保田理事長、久保田総主事

びわこ部出席者: 林部長、安田直前部長、渡壁次期部長

<挨拶: 久保田理事長>

平素は、びわこ部ならびに各クラブには滋賀YMCAをサポートいただき、感謝申し上げます。引き続き、今後の滋賀YMCAとの協働についてご理解、ご協力をお願いします。

<趣旨説明 :林びわこ部長>

先般開催した第2回びわこ部評議会での議案・協議案には、風の谷キャンプ場の運営をはじめ滋賀YMCAとの協働に関するものが複数あった。そのため、それぞれの課題解決に向けて、執行部のトップ同士による話し合いの必要性が生じた。

発言 :久保田総主事

第1回・第2回のびわこ部評議会および10月開催のびわこ部部会に担当主事としての私が出席できず、申し訳ありませんでした。発達障害児プログラムのため、代理人を立てることもままならず欠席となったことに対し、陳謝とともにご容赦をいただきたい。

発言 :林部長

びわこ部評議会における総主事は、「担当主事」の位置づけである。年間計画において評議会と部会の日時を定めているが、土曜日はYMCA事業と重なるため、出席が難しい状況であるのは理解しているつもり。

<滋賀YMCA 風の谷キャンプ場について> :びわこ部評議会 第1号協議案

1. 風の谷キャンプ場ワークの事業計画・予算化について

(提案概要)

YMCA キャンプ場委員会の要請によりワークがびわこ部の事業として実施されており、予算化はされているが決算は大幅に膨らんでいます。出費が大幅に膨らんでいるのは、構築物の費用が含まれているからだと思います。メンバー数が減少しても同じ体制では、1メンバーやクラブ負担が多くなってしまい、今後の負担に不安を感じます。

これからは、びわこ部役員評議会でキャンプ場ワークの予算案を作成し、その予算内でYMCA キャンプ場委員会にワークの事業計画を立案していただくのはどうか。びわこ部のワイズはキャンプ場のワークを行い、建築や構築物、設備工事などは滋賀YMCAの事業とすることを提案します。

(協議経過)

久保田総主事 :滋賀YMCAでは常任委員であるキャンプ場運営委員を任命し、毎年のワークについて

は、常任委員に各クラブYサ委員長を加えた実行委員会で計画実施している。常任委員と実行委員会の構成メンバーが重なっているために、役割が混乱しているが、今後、実行委員会で事業の計画化を行いたい。

林部長 :風の谷キャンプ場の将来構想を語るうえで、以前から、キャンプ場事業に関して、単独で

の収支状況を明らかにすべきとの意見もあるが。

久保田総主事 :キャンプ場の収入状況を明らかにするのは簡単だが、支出についてはボランティア活動、

スタッフの従事などもあって人件費の計上をどうするかなど難しい。

林部長 :役所では工事費の見積もりなどに「標準単価」を使用している。キャンプ場の人件費に「人夫賃」を当てはめれば一定の試算はできるのではないかと。

2. びわこ部費について・キャンプ場の地代について

(提案概要)

風の谷キャンプ場は彦根シャトークラブさんの周年記念で始まり、地代も負担されていましたが、その後、借用地代20万円をびわこ部で負担してほしいと提案があって承認されました。(その時、部費は2,000円でした)

その後、隣接の多賀町所有の土地(地代5万円)も借用し、上記の提案を受け、びわこ部役員会・評議会で部費を2,000円から4,000円に改定され現在に至っています。その頃、びわこ部員は200名足らず。今は100名を割っています。

その部費の中で地代25万円を負担しているのは、余りにもメンバーの負担が重いのではないのでしょうか。今までやってきたのでこれでよい、ではなく、新メンバー獲得のため、ワイズの奉仕が誰でもできるように、ワイズの奉仕にあまりにも多くの経済的負担がかからないように協議をお願いします。

(協議経過)

安田直前部長 : キャンプ場事業がある程度独り立ちできるようになれば、地代も事業主である滋賀YMCA

Aが支払うのが筋であろう。

久保田総理事 : YMCAで地代を負担せよ、ということであれば、財源のあてのあるなしにかかわらず受

けるしかありません。

林部長 : いきなり来年からYMCAで25万円を工面せよ、と言うのは酷ではないか。まずは次年度

びわこ部で半額ないしは10万円負担し、2年後に0円にするなど段階的に負担割合を変えていくこと

とし、YMCAにはキャンプ場事業の新たな財源づくり、例えばクラウドファンディングの様なものを構

築していただきたい。

安田直前部長 : 横文字でスマートなやつがよい、と思う。

久保田理事長 : ファンディング、基金的なものがあれば、YMCAとしても非常にありがたい。

久保田総理事 : 全国のYMCAキャンプ場研修に資金がなくて~~ユタツ~~(リーダーの誤り)を参加させられ

なかった。そういった参加費も基金的なものから充当できれば、と思う。

林部長 : 次年度からは、各クラブや個人、企業・団体がキャンプ場ファンディングに協力してもらい

たい。

渡壁次期部長 : 時期的にも、次年度のびわこ部予算を組むときであり、段階的にびわこ部の負担を軽減

する方向で検討したい。

3. 滋賀YMCA 風の谷キャンプ場委員会について

(提案概要)

この委員会は滋賀YMCAの組織の1つで、会員により構成されています。多くのワイズが委員となっています。この委員会で滋賀YMCAより要望を聞き、審議され計画・実行されます。委員会のメンバーはYMCAが主導と理解しています。(各クラブに委員の選出を依頼されている)

風の谷キャンプ場委員会は、びわこ部からキャンプ場ワークの予算を受入れ、毎年5月末日までに、びわこ部役員評議会に議案書(予算書)として提出していただく。その期の部長のもと審議して、次期部長の期の予算に入れ、その予算内でワークを実施する。など、今期の役員さんで協議、実行をお願いします。

(協議経過)

久保田総理事 : YMCAキャンプ場常任委員による年度計画の中で、見通しを持ちながら内容を決めて

いくというように取り計らいたい。

林部長 : 提案に沿った方向で対応をお願いしたいと思います。

<第7回滋賀YMCA国際チャリティーラン開催の件> : びわこ部評議会 第2号議案

(提案概要)

第7回滋賀YMCA国際チャリティーランについての承認

○開催時期 2023年5月～6月

○開催方法 バーチャルによる実施

(協議経過)

林部長 : チャリティーランをリアルで開催するに当たっては、第1回から第3回まで競技委員長とし

て関わり、常にスタッフの絶対的不足を痛感していた。根本的な問題として、現在はワイズメン、滋

賀

YMCAともに必要な人的資源を欠いていると思われる。

こ

また、2023年6月10日(土)に希望が丘文化公園陸上競技場を仮予約していただいているが、

の日はワイズメンズクラブ西日本区の区大会(熊本市)当日であり、ワイズメンの参加協力が不可能なこと、さらには、別の日時に、リアル開催の競技場所を探し当てることも非常に困難と考えられるため。

久保田総主事 : YMCAスタッフは員数が限られており、各自が、日々掛け持ちで業務に注力している

余裕がないのが現状。

林部長 : 安田部長期の2022年2月には、コロナ禍のためバーチャルでチャリティーランを実施されたが、近江八幡クラブでは小規模のランを数回開催された。林個人もそこに2回参加したがよく

工

夫されており、楽しめたし面白いと感じた。そうしたやり方を提案するバーチャル・ランを構築していけば、と思っている。

(以上。今後ともコミュニケーションを保ちながら、滋賀YMCAとワイズメンズクラブ国際協会びわこ部が協働していくことを約して話し合いを終了した。)

【第 1 号協議】

議長:宮本書記

提案者: 林部長

議案・協議案名
西日本区の財政健全化に対するびわこ部の意見について
議案・協議案内容
会員の減少、円安の影響等による、西日本区の危機的な財政事情に関し、2022年11月に理事から区費の値上げについて具体的な提言があった。 現行 年間15,000円で 1案 年間18,000円(プラス3,000円) 2案 年間20,000円(プラス5,000円)

《協議概要》 各クラブ会長からの意見・要望として、

○近江八幡クラブ(藪会長)

足りないものは足りないのだから、値上げそのものはやむを得ないが、旅費等のスリム化努力

をすべき。また、財政の方針、予算化については3~5年の中長期計画を持って対応してほしい。

○彦根クラブ(五味会長)

近江八幡クラブの藪会長が仰ってくださった通りと思う。3000円の値上げは15000円に対する

2割であり、上げ幅としては大きい。仕方がないのでしょうが。

○彦根シャトークラブ(金澤会長)

クラブ役員会での話し合いでは「値上げは言語道断」。2割アップは我々が仕事をしている感覚

で大きいと感じる。もう少し工夫すべき。

○長浜クラブ(松岡会長)

私個人の意見として3000円アップをベースに、オンライン会議なども利用してスリム化すべきと

考

えます。

○滋賀蒲生野クラブ(岡村会長)

区が運営に大変な支障をきたしているのならば、何らかの方法でもって区費の値上げは必要であ

ろうが、中長期のビジョン、理想をもって行動を重ねて行ってほしい。

○高島クラブ(牧会長)欠席

なお、出席役員からも意見を聴取した。

井之上温代 200 推進リーダー:代議員会旅費の見直しなどが必要と思う。

戸所岩雄西日本区財政監事(オブザーバー):区の中に「副区」を設けるなど、西日本区のシステム、財

政のあり方にメスを入れないといけないのでは。

東康彦国際交流主査:節約できる項目を検討したうえで値上げ金額を決めて欲しい。

田中浩文地域奉仕・環境事業主査:財政状況の理解や意見の提案は難しい。

渡壁十郎次期部長:九州部のようにどうしても旅費がかさむところへの配慮・改善策が必要。

外海会計:旅費交通費の見直しなど、見えるところからの削減・改善。

宮本書記:原点であるYMCAのサービスクラブとして対応して欲しいと思う。

以上

【第 2号協議】

議長:林部長

提案者:渡壁次期部長

議案・協議案名

次期びわこ部事業の健全運営に向けて

議案・協議案内容

先般の第2回役員会・評議会ならびに「滋賀 YMCA との今後の協働にかかる話合い」を受けて、

次の事項を協議願います

- ① 滋賀YMCA風の谷キャンプ場の地代における部費支出を次年度は25万円から10万円に・次々年度以降は0円とし、地代などにおける支援は「風の谷キャンプ場運営基金(仮称)」を創設。ワイズメンに関わらず、YMCA維持会員や一般・団体にも基金への協力を呼び掛けます。なおこの基金はクラウドファンディングでも可能ですが、クラウドファンディングの立ち上げについては経費も必要となるため、びわこ部と滋賀YMCAの協働で検討します
- ② 部費については上記の地代支援を受け、当時2000円から現行の4,000円に改定され、現在に至りますが、一方でびわこ部メンバー数も83名(今期後期半年報・担当主事含む)とほぼ半減しているため、今後の正常な事業活動を維持するためには、当面現行どおりの4000円とします

《協議概要》

近江八幡クラブ 藪会長:

クラウドファンディングについて経験上の説明をします。広く一般から資金を調達するのがクラウド

ド

ファンディングで、返品品を用意したりするほか手数料を 20～30%とられる。知り合いの方から直接

資金調達するなら、クラウドファンディングの方法をとる必要はありません。

宮本書記:

キャンプ場の地代の値下げ交渉をしてもよいのでは。

林部長:

キャンプ場の賃貸借契約書を確認していただき、値下げの可能性を検討いただきたい。

安田直前部長:

基金は、その都度設置することでよいのでは。

長期を想定した「風の谷キャンプ場運営基金(仮称)」の名称については、検討して欲しい。

東国際交流主査:

クラウドファンディングの資金で土地を取得する、という方向もあるのでは。

キャンプ場の場所についても風の谷に限定されるものではなく、近江八幡の鯖江なども可能では。

参加費も他のキャンプ場と競争できる金額にするなど、総合的に考えて推進して欲しい。

以上

びわこ部からの報告

1. 活動報告・計画の進捗、実施状況(2022年7月～2023年1月)

○滋賀 YMCA 風の谷キャンプ場開設ワーク 6月26日(日)滋賀県多賀町

○第1回役員評議会 7月16日(土)14:00～17:00 彦根勤労福祉会館

○びわこ部会 会場:マリアージュ彦根 15:00～式典、特別講演、懇親会

○びわこ部便りの発行 第1号 8月14日

○部長公式訪問 出席者

近江八幡クラブ (例会日:第3土曜日)8月20日(土) 林、三役、主査

彦根シャトークラブ(例会日:第2木曜日)8月 6日(土) 林、三役、主査

長浜クラブ (例会日:第1木曜日)8月18日(木) 林、三役、主査

滋賀蒲生野クラブ (例会日:第2火曜日)9月13日(火) 林、三役、主査

高島クラブ (例会日:第2水曜日)10月12日(水) 林、三役

彦根クラブ (例会日:第2月曜日)7月11日(月) 林、三役

○第2回役員評議会 11月19日(土)13:30～16:15 彦根勤労福祉会館

○EMCシンポジウム 12月3日(土)14:00～ 彦根勤労福祉会館 大ホール

○びわこ部便りの発行 第2号 2023年1月3日

○びわこ部合同新年交流会 1月15日(日)多賀大社参拝、参集殿

2. 今後の活動予定(2023年2月～6月)

○東西日本区交流会 2月4・5日 ANAクラウンプラザホテル神戸

○役員評議会日程

第3回役員評議会 2月18日(土)14:00～17:00 彦根勤労福祉会館

第4回役員評議会 6月17日(土)14:00～17:00 彦根勤労福祉会館

○びわこ部便りの発行 第3号 第4号

○YY フォーラム(オフサイトミーティングの実施) 日程調整中

○滋賀 YMCA チャリティーラン(バーチャル・ラン) 計画中

2023～2024年度 びわこ部役員・事業主査・クラブ会長

役員

役職	名前	所属クラブ
部長	渡壁 十郎	長浜
次期部長		滋賀蒲生野

直前部長	林 宏一	彦根
書 記	伊藤 文訓	長浜
会 計	宮本 鉄也	長浜
担当主事	久保田 展史	滋賀 YMCA
監 事	安田 博彦	近江八幡

事業主査

役 職	名 前	所属クラブ
Yサ・ユース	宮本 年博	彦根
地域奉仕・環境	藪 秀実	近江八幡
EMC	岡村 遍導	滋賀蒲生野
国際・交流	安澤 勝	彦根シャトー

クラブ会長

近江八幡	坂井 繁
彦根	林 宏一
彦根シャトー	金澤 芳夫
長浜	寺倉 利明
滋賀蒲生野	井之上 温代
高島	林 俊博

次期理事等に関して

次期理事等の指名については、西日本区定款(第8条)に規定されているところですが、今後の理事人事についてお知らせします。

2023～2024年度 深谷 聡ワイズ(名古屋)

2024～2025年度 鶴丹谷 剛ワイズ(神戸) 西日本区第2回役員会で紹介された。

2025～2026年度 (未定) 順番としては、中西部とされる。

2026～2027年度 (未定) 順番としては、びわこ部とされるが・・・

8. YMCA の歌 静聴

9. 閉会点鐘 林部長

以上